



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



遠 2378 118

昔河橋通徳は経津彦に依りて木を為す所を隨ふ由店  
津島に山日指盤島は経津彦に依りて木を為す所を隨ふ由店  
例年と通十月月中旬。黄初は若くは相習法に依りて光を  
成下不限多し河津用向は山日指盤島に依りて木を為す所を隨ふ由店

一 上州撰筆後編

一 紫房綴麻子書かへ

一 水滸傳女物男物

一 柳後甲とてあとい句合

一 傳紫田舎ちり

何と家字酒讀多しは種別ありては浦島おぢの  
火焚むしは子もち物袋入格別下直まきるす亦

通油町

# 鶴屋喜右衛門



五本植徳もる清水流る風情も見えとて我柳とて木せ  
其古をその所等あり柳園ハ難波に芽うて既よ成りたり

近曾居とてさ彼川柳の俳風あるびさ之作の筆を把て夫の柳屋も  
あつちの一人也何事と号し頃ハ西種の繪冊子と著し故ありて

名と隠し上州遊び刻彼地の夫の物語を矢たその筆を著しとて  
あの稿本と送りし名五六年ゆもつるす故その人ハ又風ふるこがら

柳如葉の如くは在家と定まらん再校正するべき便もるこめり  
走筆して續得がたところぐハ予が澄りあるは流あふ削り柳の

多のたせむは儀あびる上州撰と成投る間も題してあまら  
天保乙未春

## 柳亭種彦記





永緒の家  
 中  
 金子新兵衛



多満屋の  
 藝子  
 三國



あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち

あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち

あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち

あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち

あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち

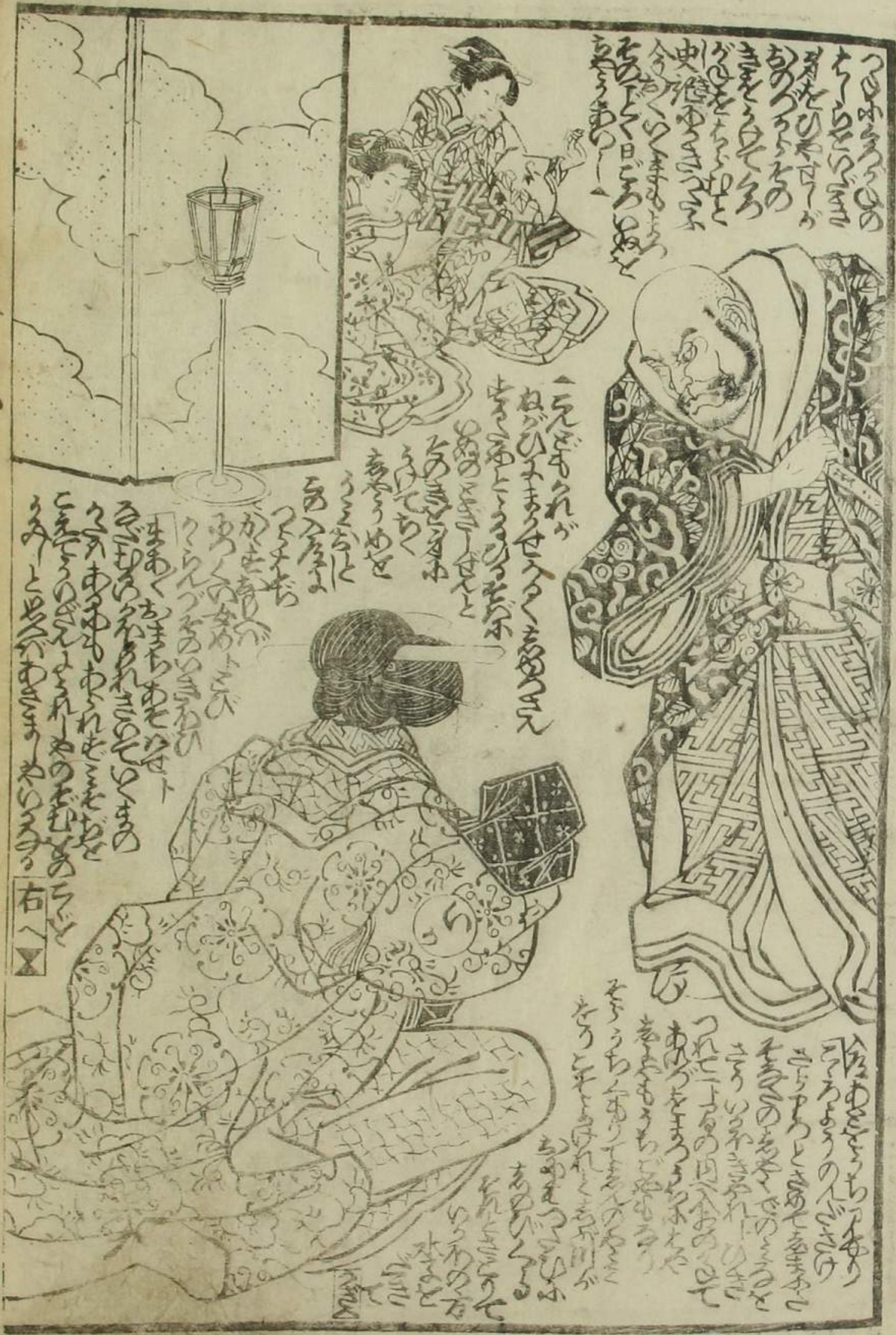


あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち

あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち

あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち  
あつちのあつち

あつちのあつち



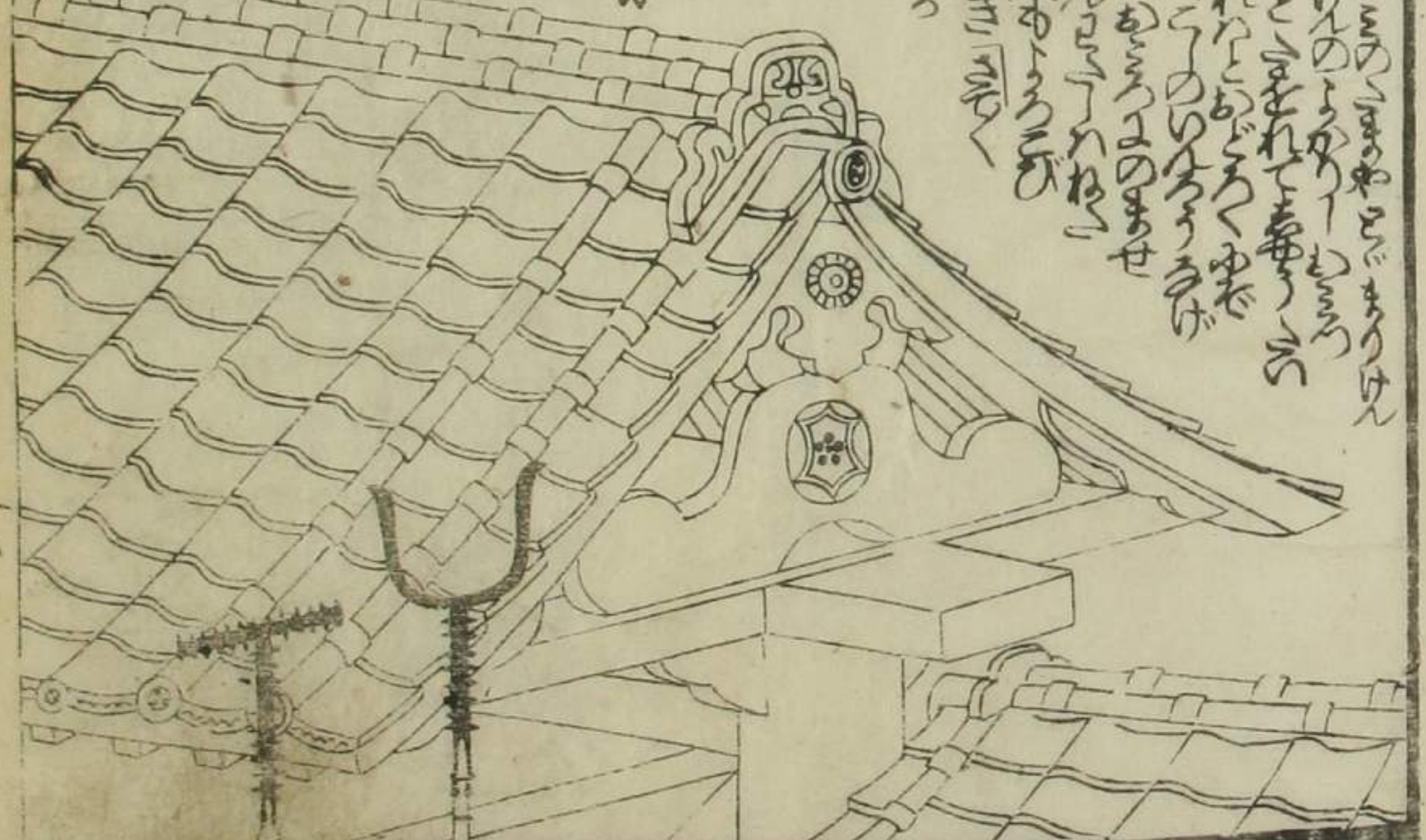


新嘉坡の...



...の...  
...の...  
...の...  
...の...  
...の...  
...の...

新嘉坡の...



此の世の事には  
 何事もあらず  
 只の世の事  
 何事もあらず  
 只の世の事  
 何事もあらず  
 只の世の事  
 何事もあらず  
 只の世の事  
 何事もあらず  
 只の世の事  
 何事もあらず  
 只の世の事  
 何事もあらず  
 只の世の事  
 何事もあらず



左の  
 上  
 下  
 中  
 下  
 中  
 下  
 中  
 下  
 中  
 下  
 中  
 下  
 中  
 下



七  
 下  
 中  
 下  
 中  
 下  
 中  
 下  
 中  
 下  
 中  
 下  
 中  
 下  
 中







Vertical Japanese text columns on the left page, including a small box at the bottom right.

Vertical Japanese text columns at the top of the right page.



Vertical Japanese text columns at the bottom of the right page, including a small box.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, arranged in vertical columns.



Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or commentary from the adjacent page.

Handwritten text in a cursive script, arranged in vertical columns on the left side of the page.



Handwritten text in a cursive script, located below the central illustration of the woman.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the page, below the woman's illustration.



足門機 筆綾織

巻二 中

貞秀の画



柳亭校 菊彦作

ふりてと  
ふりまきまふ  
身をよぎのせ  
ぬのあざと  
まへにまふこれと  
まの世のりるまを  
とめたがふあしと  
ゆいつこふりそれい  
くとき  
あふれ  
けり

二二八

















Handwritten text in the top left corner of the left page, consisting of several lines of cursive Japanese characters.



Handwritten text in the middle left of the left page, surrounding the man's illustration.

Handwritten text in the bottom left corner of the left page, continuing the narrative or commentary.



Handwritten text in the top left corner of the right page, above the woman's illustration.

Handwritten text in the top middle of the right page, near the woman's head.

Handwritten text in the middle right of the right page, near the woman's hands.

Handwritten text in the bottom right corner of the right page, continuing the narrative or commentary.



左の男は...  
 右の女は...  
 新...  
 山...  
 新...

左の男は...  
 右の女は...  
 新...  
 山...  
 新...



右の女は...  
 左の男は...  
 新...  
 山...  
 新...

右の女は...  
 左の男は...  
 新...  
 山...  
 新...

右の女は...  
 左の男は...  
 新...  
 山...  
 新...









八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十



三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十



三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十



















寛政十三年  
和歌山

これこそ我が國の  
花ももつち  
うんが 出  
えけるる  
からう  
とる。

あふ  
又ハ、あふ  
東リリス。  
西リリス。  
あつたつたの  
七ッる又、この  
ささげはささ  
り、このささげ  
あふたつたつた  
あふたつたつた

あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた

あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた



和歌山  
寛政十三年

これこそ我が國の  
花ももつち  
うんが 出  
えけるる  
からう  
とる。

あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた

あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた  
あつたつた



大金書狀案文

自於漢文入

消息往來詳註

高井蘭山速 全一冊

消息往來世に於ての初學の爲め  
解し易くしとす。詳註ありて字義を  
し解し易くしとす。詳註ありて字義を

合則壽福三世相大鑑

全三冊

合則一といふも、初めの人より、  
衆人より、其の旨用の、其の旨用の

拳獨枕昔古

中本一冊 山櫻連々  
逸軒播舟作

九卷とす。初めの人より、  
衆人より、其の旨用の、其の旨用の

教真草消息往來

繪圖註入全一冊

柳亭種彦作繪草紙二種

白濁戲言句合 二冊

儂紫田舎源氏

歌川國芳狂画 一冊

歌川國貞画

浮浪さくら 六冊

枕琴夢之通路

歌川貞秀画

上州機筆綾織

昔はるきまを免さく 三冊

井筒の藝子

茶番のいろは 二冊

八白屏の娘

紫房紋笥箱 六冊

美艶仙女水月

團扇地紙 問屋鶴屋喜右衛門

黒油美玄香

團扇地紙 問屋鶴屋喜右衛門



團扇地紙 問屋鶴屋喜右衛門

